

対象国の条件:

研修コース番号:201984493-J002

案件番号:201984493

主分野課題:防災/総合防災

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

「仙台防災枠組 2015-2030」における「災害リスクを理解」、「効果的な応急対応のための災害への備え」への取組みとして、様々な火災を想定した消火・救助技術の実技習得に加え、地域に実施する防災啓発活動など、自国で応用可能な日本の消防・防災についての知識・技術の習得が期待できる。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修で習得した消火技術、消防・防災活動が活動計画に基づき実施され、所属組織の消防・防災体制が改善される。

【成果】

1. 日本における火災予防、防災に関する基本的知識を理解できる。
2. それらの技術・知識を活用し、参加国の状況に応じて適切に部隊を運用することができる。
3. 部隊活動の中で、各種火災に対する消火方法、消防資機材の適切な取扱い、火災現場における救急・救助が実践できる。
4. 帰国後の普及活動のための計画が策定できる。

【対象組織】

中央政府・地方政府又は民間の消防担当機関

【対象人材】

1. 現在または将来、消防の現場指揮官および消防研修機関の教官などになることが見込まれる者
2. 現在消防業務に従事しており、少なくとも5年以上の経験を有する者
3. 大学卒又はそれと同等の者
4. 原則45歳以下での業務に支障がない者

内 容

1. 「仙台防災枠組」の概要と防災における消防の役割
2. 災害への備えと減災活動に関する講義
3. 火災防御訓練に関する講義、実技訓練等
4. 火災調査に関する講義等
5. 安全管理に関する講義等
6. 指揮理論に関する講義等
7. 消防車両、機械器具に関する講義、実技訓練等
8. 火災現場における救出救助及び応急手当に関する講義、実技訓練等
9. 火災予防に関する講義等
10. 地域防災活動に関する講義等
11. アクションプラン作成作業、発表

本邦研修期間

2019/9～2019/11

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

消防庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

北九州市消防局

**特記事項
及び
ホームページ**